

頑張ろう！被災者のみなさん。 第13陣（7月3～8日）に8名

ヘドロ除去が急務

「連合救援ボランティア」に連続参加



(写真左) 仙台市宮城野区蒲生地区の住宅で側溝のヘドロ除去

(写真右上から) 連合救援ボランティア第13陣結団式 / 蒲生地区で活動した連合スタッフ / JR総連から第13陣への派遣団

東日本大震災による被災地の復旧活動をおこなう「連合救援ボランティア」第13陣（7月3～8日）に、JR総連から8名が参加しました。参加したのはJR総連1名、JR北海道労組2名、JR東海労1名、JR貨物労組から4名の組合員です。

今回のボランティア活動は、第11、12陣に引き続き、仙台市宮城野区で蒲生地区の住宅街の側溝に溜まったヘドロの除去作業を行いました。30℃を超すとても暑い環境下での作業でしたが、作業をした地区の住民からは「下水道の掃除は本当に助かる。ありがとう」と声をかけられるなど、厳しい活動の中でもとても充実感を味わいました。

台風シーズンを迎える被災地では、今でも下水の側溝にヘドロが溜まったままで、人海戦術での除去は急務な課題です。今回も5日間の日程のなかで2日目は雨に見舞われて作業が中止となるなど、早期復旧が懸念されます。

JR総連は7月11日からの「連合救援ボランティア」第14陣に、引き続き9人が参加するなど、今後も活動に復旧活動に参加していきます。